御 案 内

ほうおんこうほうよう

しんらんしょうにん

親鸞聖人 報恩講法要

（７６５回忌法要）

◇　講　師　　本願寺派布教使

松月　博宣　　師　（糸島市　海徳寺）

日　　時	昼　　席
11月 17 日(火)	13時30分～15時30分 ※雅楽入り
11月 18 日(水)	13時30分～15時30分 ※お斎あり
※18 日のお斎(食事)は、 会館にて 12 時 15 分から 13 時15分まで ※お斎は、どなたでもいただけます 是非、お斎からお越しくださいませ	

【次第】

1.お勤め　（17 日は雅楽が入ります）　（18 日はお斎があります）

2.法　話　（仏さまのお話を聞きます＝お聴聞）

※参拝時は、お念珠をご持参ください

（お経本、式章をお持ちの方は、あわせてご持参ください）

※ご仏前は、賽銭箱前のおぼん(ケース)にお預けください

～報恩講法要とは～

報恩講法要は、宗祖・親鸞聖人（しんらんしょうにん）の遺徳をたたえ、その恩に報ずる法要である。　親鸞聖人は、阿弥陀如来（あみだにょらい）の本願（ほんがん）（「必ず救う、われにまかせよ。お浄土に生まれさせ、仏にならしめん」）の教えを明らかにされ、その九十年のご生涯を、お念仏（南無阿弥陀仏）の道ひとすじに歩まれました。

今ここに、私たちが浄土真宗の救いのよろこびにあえたことも、親鸞聖人のご苦労のたまものであります。

浄土真宗では、お聴聞（仏法を聞く）が大切です。どうぞお寺の本堂で、親鸞聖人が明らかにされた、阿弥陀さまのおこころ（南無阿弥陀仏）を、共々にお聞かせいただきましょう。

“お念仏とともの人生は、おかげさまと生かされて、ありがとうと生き抜く人生です。”

どうぞ、お参りくださいますよう、ご案内申し上げます。

浄土真宗本願寺派（西本願寺）　千部山　真　教　寺

〒811－1222　那珂川市下梶原 2 - 8 - 1

電　話　092 - 952 - 2429